

## セクション1: 化学物質特定情報および会社情報

## 製品特定情報

製品形態 : 混合物  
製品名 : 試薬A  
別名 : キット用試薬A 9000-1, 9222-1, 9333-1, 9444-1, 9777-1, 9888-1

## 該当純物質または混合物の関連特定用途および使用禁止用途

物質/混合物の用途 : 成分/CAS番号 各キットラベルで参照される特定の標準の検出。R&D専用。

## 安全データシートの作成者に関する詳細

## 会社

Repligen Corporation  
41 Seyon Street, Building 1, Suite 100  
Waltham, MA 02453  
USA  
+1 781-250-0111

[customerserviceUS@repligen.com](mailto:customerserviceUS@repligen.com)

## 緊急時の連絡先電話番号

緊急連絡先電話番号 : ChemTel LLC  
+1 (813)248-0585(国際)

## セクション2: 危険有害性の要約

## 物質または混合物の分類

## GHS-JP分類

健康に対する危険有害性 : 皮膚腐食性/刺激性、区分2

## ラベル要素

有害性に関する絵表示(GHS-JP) :



注意喚起語(GHS-JP) : 警告  
危険有害性情報(GHS-JP) : 皮膚刺激(H315)。  
注意書き[予防策] : 取扱い後は手、前腕部、顔をよく洗うこと。(P264)。  
保護手袋、保護衣、眼球保護具を着用すること。(P280)。  
対応の注意書き : 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302+P352)。  
特別な処置が必要(このSDSのセクション4を参照)(P321)。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P332+P313)。  
。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)。

## その他の危険有害性

分類につながらないその他の危険有害性 : 既存の眼疾患、皮膚疾患、または呼吸器系疾患がある場合は、暴露によりこれらの疾患が悪化するおそれがある。

## セクション3: 組成/成分情報

物質または混合物の識別 : 混合物

名称	濃度	化学式	公報リストの参照番号		CAS番号
			CSCL番号	ISHL番号	
酢酸ナトリウム	15	C2H3NaO2	(2)-692	2-(4)-581	127-09-3
ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート	0.1	特記なし	(8)-55	(8)-55	9005-64-5

# 試薬A

## 安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

### セクション4: 応急措置

#### 応急措置の説明

- 一般的な応急措置 : 意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける(可能な場合はラベルを提示する)。
- 吸入した場合の応急措置 : 症状が発生した場合: 屋外に退避し、暴露の疑いのある区域の換気を行う。呼吸困難が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合の応急措置 : 汚染された衣類を脱ぐ。汚染された領域を直ちに水で15分以上洗い流す。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。
- 眼に入った場合の応急措置 : 水で数分間、注意深く洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合の応急措置 : 口をすすぐ。無理に吐かせない。医師による手当てを受けること。
- 応急処置をする者の保護と対策 : 適切な個人用保護具(PPE)を使用する。

#### 急性と遅延型の両方を含む、最も重要な症状と影響

- 症状/影響 : 皮膚刺激。
- 吸入した場合の症状/影響 : 一次暴露経路とは見なされない。長時間暴露により、炎症を引き起こすおそれがある。
- 皮膚への接触後の症状/影響 : 赤み、痛み、はれ、かゆみ、炎症、乾燥、皮膚炎。
- 眼に入った後の症状/影響 : インクへの長期暴露により、炎症を引き起こす恐れがある。
- 飲み込んだ場合の症状/影響 : 一次暴露経路とは見なされない。飲み込むと有害な影響を及ぼすおそれがある。
- 慢性症状 : 知見なし。

#### 医師による即時の手当ておよび特別な治療の適応となる症状

暴露した場合や暴露が懸念される場合には、医師の診察、手当てを受けること。医師の診察が必要な場合、製品の容器やラベルを持参すること。

### セクション5: 火災時の措置

#### 消火剤

- 適切な消火剤 : 散水、水の噴霧、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤。
- 不適切な消火剤 : 強力な放水を使用してはならない。強力な放水の使用により火災が拡大するおそれがある。

#### 物質または混合物に由来する特別な危険有害性

- 火災危険性 : 可燃性ではないが、高温では燃焼するおそれがある。
- 爆発危険性 : 本製品は爆発性はない。
- 反応性 : 通常の条件下では有害な反応は発生しない。

#### 消火時の注意事項

- 火災に関する予防措置 : 化学物質による火災の消火は慎重に行う。
- 消火時の指示 : 露出した容器の冷却には散水あるいは水の噴霧を使用する。危険がない場合には、防火区域から容器を移動する。
- 消火時の防護 : 呼吸用保護具を含む適切な保護具を装着していない者は、火災発生エリアには立ち入ってはならない。
- 有害燃焼生成物 : 炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)。酸化ナトリウム。窒素酸化物。
- その他の情報 : 火災にさらされると、容器が破裂/爆発するおそれがある。

### セクション6: 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具、および緊急措置

- 一般的な措置 : 吸引を避けること(蒸気、ミスト、スプレー)。眼、皮膚、衣類への接触は避けること。
- 二次災害の防止策 : 必要なし。
- 緊急救援隊以外の人員
- 保護具 : 適切な個人用保護具(PPE)を使用する。
- 緊急措置 : 不必要な人員を退避させる。
- 緊急対応にあたる人員
- 保護具 : 浄化担当スタッフには適切な保護具を装着させる。

# 試薬A

## 安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

**緊急措置** : 当該領域の換気を行う。現場に到着したら、まず危険なものがないことを確認し、自分とその周囲の保護、安全を図り、状況が許し次第、訓練された人員の支援を求める。

### 環境に関する注意事項

下水および公共用水への流入を防止する。

#### 封じ込めおよび浄化の方法・機材

**封じ込め** : 漏出した物質を防壁または吸収材で封じ込め、移動および下水や河川への流入を防止する。  
**浄化方法** : 漏出した物質を迅速に除去し、回収した物質は安全に廃棄する。不活性物質を用いて漏出した物質の吸収や封じ込めを行う。漏出した物質を廃棄に適した容器に移す。漏出の発生後に、監督官庁に通報する。

### 他のセクションの参照事項

セクション8「暴露防止および保護措置」およびセクション13「廃棄上の注意」を参照のこと。

## セクション7: 取扱いおよび保管上の注意

### 安全な取扱いに関する注意事項

**加工時の追加的有害危険性** : 可燃性粉塵を含む。乾燥させ、蓄積させ、空気中に分散させると、空気中に可燃性の粉塵濃度を形成し、発火して爆発するおそれがある。適切な予防策を講じてください。  
**安全な取扱いに関する注意事項** : 安全上の注意をすべて読み、よく理解した上で取り扱うこと。飲食や喫煙の前、および作業場を離れる際には、手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹸と水で洗浄する。皮膚、眼、衣類との接触は避ける。蒸気、ミスト、スプレーを吸引しないようにすること。適切な個人用保護具(PPE)を使用する。  
**衛生対策** : 労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。汚染された衣類は、再使用する前に洗濯する。

### 安全な保管の条件(混触危険性を含む)

**技術的対策** : 適用される規則を遵守する。  
**保管条件** : 使用していない場合は、容器を閉めておく。乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管する。直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質を避けて保管する。  
**混触危険物質** : 強酸、強塩基、強力な酸化剤。アルカリ。ハロゲン化合物。過酸化物。硝酸塩。  
**梱包/容器に使用されている材料** : 元の容器で保管すること。  
**保管温度** : 2~8°C

### 特定の最終用途

成分/CAS番号 各キットラベルで参照される特定の標準の検出。R&D専用。

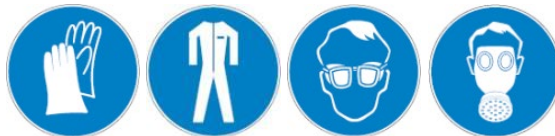
## セクション8: 暴露防止および保護措置

制御パラメータデータなし

生物学的限界データなし

### 暴露防止

**適切な工学的管理** : 暴露の危険性のある区域のすぐ近くに、緊急用の洗眼器および安全シャワーを設置しなければならない。十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。国/地方公共団体の規則を確実に遵守する。  
**個人用保護具** : 手袋。保護衣。防護ゴーグル。換気が不十分な場合:呼吸用保護具を着用。



**保護衣の素材** : 耐化学物質性の素材および繊維。  
**手の保護** : 保護手袋を着用すること。  
**眼および顔面の保護** : 化学薬品対応の安全ゴーグル。  
**皮膚および身体の保護** : 適切な保護衣を着用する。

# 試薬A

## 安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

呼吸器系の保護	: 暴露限界値を超えるか、かゆみなどが感じられる場合は、認証済み呼吸保護具を着用する。換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、認証を受けた呼吸用保護具を装着すること。
熱危険性の防護	: 極度の低温または高温にさらされるリスクがある場合は、耐熱性の保護服を着用してください。
環境暴露防止	: 環境への放出を避けること。
消費者の暴露防止	: この製品の使用中は、飲食および喫煙をしないこと。
その他の情報	: 本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

## セクション9: 物理的および化学的性質

### 基本的な物理的・化学的特性に関する情報

物理状態	: 液体
外観	: 無色の液体
色	: 無色。
臭い	: 強い、酢っぽい
臭いの閾値	: データなし
pH	: 3
蒸発速度	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: 該当なし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度(20°C)	: データなし
相対密度	: データなし
溶解度	: 水: 可溶型
分配係数: N-オクタノール/水	: データなし
粘度	: データなし
爆発限界	: データなし

その他の情報 データなし

## セクション10: 安定性および反応性

### 反応性

通常の条件下では有害な反応は発生しない。

### 化学的安定性

推奨される取扱いおよび保管条件下にある場合は安定(セクション7を参照)。

### 有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

### 避けるべき条件

直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質を避けて保管する。発火源。

### 混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。アルカリ。ハロゲン化合物。過酸化物。硝酸塩。

### 危険有害な分解生成物

熱分解により、以下を生成する可能性がある: 炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)。炭化水素。窒素酸化物。酸化ナトリウム。

## セクション11: 有害性情報

### 毒性影響に関する情報

急性毒性(経口) : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

# 試薬A

## 安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

- 急性毒性(経皮) : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
急性毒性(吸入) : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート(9005-64-5)	
LD50 経口 ラット	> 18000 mg/kg
LC50 吸入 ラット	> 5.1 mg/l/4h
酢酸ナトリウム(127-09-3)	
LD50 経口 ラット	3530 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 10 g/kg
LC50 吸入 ラット	> 30 g/m <sup>3</sup> (曝露時間:1時間)

- 皮膚腐食性/刺激性 : 皮膚刺激。  
眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
呼吸器官系または皮膚感作性 : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
生殖細胞変異原性 : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
発がん性 : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
生殖毒性 : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
特定標的臓器毒性(STOT) - 単回暴露 : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
特定標的臓器毒性(STOT) - 反復暴露 : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
吸引性呼吸器有害性 : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
潜在的なヒトの健康に対する有害作用および症状 : 皮膚刺激。  
その他の情報 : 未分類

## セクション12: 環境影響情報

### 毒性

- 急性水生毒性 : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
Aquatic Chronic(水生慢性) : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
生態系 - 一般 : 未分類。

酢酸ナトリウム(127-09-3)	
LC50 魚類 1	> 100 mg/l(曝露時間:96時間 - 種類:ゼブラフィッシュ(Danio rerio)[半止水式])
EC50 - 甲殻類[1]	> 1000 mg/l(曝露時間:48時間 - 種類:オオミジンコ(Daphnia magna))

### 残留性および分解性

試薬A	
残留性および分解性	立証されていない。

### 生物蓄積性の可能性

試薬A	
生物蓄積性の可能性	立証されていない。

酢酸ナトリウム(127-09-3)	
BCF 魚類 1	< 10

土壤中の移動性 データなし

### その他の有害な影響

- オゾン層に有害 : 未分類。利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。  
その他の情報 : 環境への放出を避けること。

## セクション13: 廃棄上の注意

### 廃棄物処理方法

- 推奨される廃棄方法 : 内容物/容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。  
その他の情報 : 空にした容器が有害である可能性あり。すべての使用上の注意に従うこと。  
生態系 - 廃棄物質 : 環境への放出を避けること。

# 試薬A

## 安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

### セクション14: 輸送上の注意

この輸送上の説明は、SDSの起草時点で想定された内容に従って記述されており、基準となる変数が、SDSが発行された時点で既知であった、あるいは、未知であったため、変動することがある。

**UNRTDG準拠** 輸送に関する規制なし

**IATA準拠** 輸送に関する規制なし

**IMDG/IMO準拠** 輸送に関する規制なし

**MARPOLの付属書類IIおよびIBC Codeに従うばら積み輸送** 該当なし

**その他の情報**

その他の情報 : 補足情報なし。

### セクション15: 適用法令

#### 適用法令

#### ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート(9005-64-5)

化学物質の審査および製造等の規制に関する法律 | 優先評価化学物質(同法第2条第5項)

#### 規制参考情報

米国TSCA(有害物質規制法)インベントリーに収載  
カナダDSL(国内物質リスト)に収載  
EECインベントリー-EINECS(欧州既存商業化学物質インベントリー)に収載  
オーストラリア工業化学品導入機構(AICISインベントリー)で収載導入  
PICCS(フィリピン化学品および化学物質インベントリー)に収載  
日本のENCS(化審法の既存化学物質)インベントリーに収載  
KECL/KECI(韓国既存化学物質リスト/インベントリー)に収載  
IECSC(中国で製造または輸入された現有化学物質名録)に収載  
NZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に収載  
日本のISHL(労働安全衛生法)に収載  
INSQ(メキシコ国家化学物質インベントリー)に収載  
TCSI(台湾既存化学物質インベントリー)に収載  
NCI(ベトナム国家化学物質インベントリー)に収載

#### 酢酸ナトリウム(127-09-3)

海洋汚染等および海上災害の防止に関する法律 | 有害液体物質 -  
分類Z(同法第3条第3項、施行令第1条第2項、付表1項目3)

外国為替および外国貿易法 | 輸出貿易管理令付録1第16項

水道法 | 有害物質(同法第4条第2項)、水質基準(省令第101号(2003年))

#### 規制参考情報

米国TSCA(有害物質規制法)インベントリーに収載  
カナダDSL(国内物質リスト)に収載  
EECインベントリー-EINECS(欧州既存商業化学物質インベントリー)に収載  
オーストラリア工業化学品導入機構(AICISインベントリー)で収載導入  
PICCS(フィリピン化学品および化学物質インベントリー)に収載  
日本のENCS(化審法の既存化学物質)インベントリーに収載  
KECL/KECI(韓国既存化学物質リスト/インベントリー)に収載  
IECSC(中国で製造または輸入された現有化学物質名録)に収載  
NZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に収載  
日本のISHL(労働安全衛生法)に収載  
INSQ(メキシコ国家化学物質インベントリー)に収載  
TCSI(台湾既存化学物質インベントリー)に収載  
NCI(ベトナム国家化学物質インベントリー)に収載

### セクション16: その他の情報

作成日または最新改訂日 : 2021/08/30

参考文献 : 本書は日本の危険有害性情報の伝達方法の基準である安全データシート(SDS)の要件JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準じて作成された。

# 試薬A

## 安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

---

日本 GHS SDS

本情報は現有知識をもとにしており、健康、安全、環境面での要件のみを目的に製品の特徴を記載したものである。よって、製品の個別の特性を保証すると解釈されることがあってはならない。